保証について

1．保証について
この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目
- LEDが切れていませんか。
- 正常に点灯しますか。
- スイッチは正常に切り替りますか。
- 天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- 可動部は異常なく動作しますか。
- 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃 器具やLEDにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木･竹･籐 布･和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2．異常時の処置
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談

照明器具の機能、性能のお問い合わせは、下記までお電話ください。
CSセンター （0570）003-937（ナビダイヤル　全国共通）
受付時間（月～金曜）9：00～17：00　土･日･祝祭日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

DAIKO 大光電機株式会社 施工・取扱説明書 保存用

品　番	DOL-3404YBE・DOL-3404YSE・DOL-3404YWE

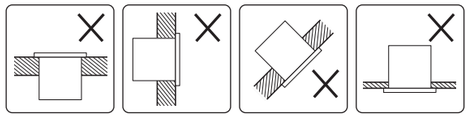
このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ
- ●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店･工事店にご依頼ください。
- ●施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ●本説明書は大切に保管してください。

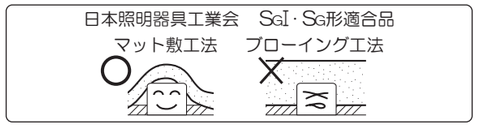
安全上のご注意

⚠ 警告
取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

厳守
この器具は天井埋込専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災･落下の原因となります。



ブローイング工法、特殊な断熱･遮音･防音施工された天井には使用しないでください。
過熱して火災の原因となります。



禁止 火気等の近くでは、使用しないでください。火災･感電･落下の原因となります。

禁止 器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災･感電･落下の原因となります。

禁止 屋内配線の電源･ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かくが、造営材･ダクトに直接触れないように施工してください。施工に不備があると、火災･感電の原因となります。

分解禁止 器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災･感電･落下･転倒等の原因となります。

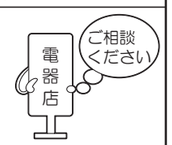
厳守 この器具は耐塩仕様ではありません。塩害地域には取付けないでください。早期に錆･腐食などが生じ、火災･感電･落下の原因となります。

厳守 電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとＬＥＤ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災･感電の原因となります。

厳守 器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災･感電･落下の原因となります。

アース工事 アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行なってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

厳守 煙･臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災･感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。



⚠ 注意
取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守 電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

注意 照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。
点検は、本説明書に従ってお願いします。(3～5年に1度は販売店･工事店での点検をおすすめします。)

大光電機株式会社
〒541－0043　大阪市中央区高麗橋3－2－7　高麗橋ビル6F

施工説明 | 工事店様へ

●施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は必ずお客様にお渡しください。

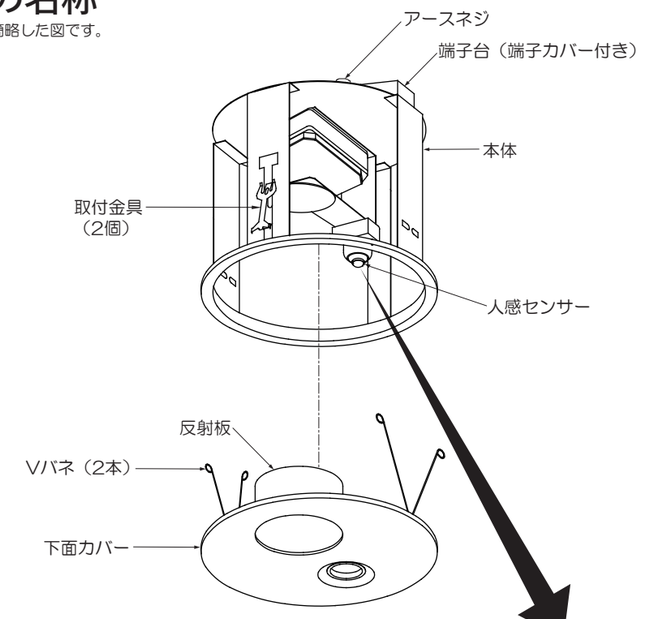
仕様

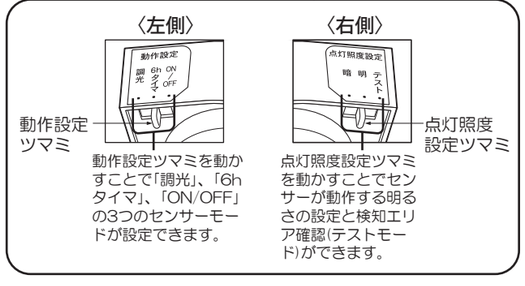
●屋外天井埋込専用器具です。
●器具にはアクリルを使用しています。取扱いは丁寧に行ってください。
●断熱施工用SGI形器具です。
●防滴形器具です。
●取付金具(2個)取付専用器具です。
●温度保護機能付です。
●マルチタイプ人感センサー付です。
●調光器との併用はできません。
●LEDユニットは交換できません。

品番	DOL-3404YBE・DOL-3404YSE・DOL-3404YWE
配光	1/2照度角　60°
定格電圧	交流　100V
周波数	50/60Hz兼用
消費電力	8.5W
入力電流	0.17A
LEDユニット	演色性　Ra85 電球色(2700K) (7灯)
器具重量	約1.3kg
電源接続	端子台(送り容量最大6A)

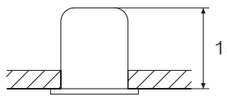
各部の名称

※下図は、簡略した図です。





埋込必要高



付属部品

エリアマスク
(1個)

⚠ 警告

この器具は防滴形器具です。湿気の多い場所や浴室･サウナで使用しないでください。火災･感電の原因となります。

取扱説明 | お客様へ

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

通常は室内スイッチをONにした状態でご使用ください。

室内スイッチが「ON」の時	1. 周囲が暗くなると6hタイマーモードの時は、6時間の弱点灯状態の後、消灯状態になります。調光モードの時は、弱点灯状態になります。ON/OFFモードの時は、消灯状態のままです。
	2. 人を検知すると点灯状態になります。
	3. 約60秒間点灯した後、6hタイマーモード･ON/OFFモードは消灯状態となり、調光モードは弱点灯状態に戻ります。
	4. 周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
室内スイッチが「OFF」の時	1. 周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

●強制点灯をさせたい場合は、強制オン機能をご使用ください。(別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)
●検知範囲は別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。
※人感センサーのご使用方法については、別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

LEDについて

●LEDユニットは交換できません。
●LEDにはバラツキがあるため、商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●設置してから約8～10年、LEDは寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。器具を点検のうえ、交換してください。(周囲温度30℃、一日10時間点灯)
●LED器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
●LED器具の近くで、室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●LEDを長時間直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

ご使用上のご注意

●室内スイッチ･ブレーカーを操作した後、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
●掃除をする時は、室内スイッチまたはブレーカーを切って、電源が切れたことを確認してから行ってください。
●検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがあります。(体温を感じで反応するもので、故障ではありません。)
●季節などの温度変化により、検知範囲が多少変化することがあります。(センサーの検知方式によるもので、故障ではありません。)
●人体検知レンズが汚れたり、ほこりがたまったりすると動作しにくくなります。柔らかい乾いた布などで定期的に掃除してください。(シンナー、ベンジン等の薬品は絶対に使用しないでください。)
●器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下･変質･変色の原因となります。
●点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。
●故障と思われた時は、次の点をお調べください。

症状	点検箇所	次の点をお調べください。
自動点滅しない	室内スイッチ	●ONになっていますか？
	電源	●ブレーカーが落ちていませんか？
	人体検知レンズ	●汚れたり、ほこりがたまっていませんか？

●センサーの動作がおかしい時は、別紙「人感センサーの取扱説明書」、7ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

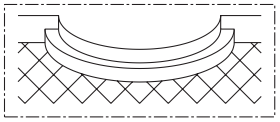
施工説明

❶ 取付け前の注意事項について

●ロックウール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取付ける場合は、必ず器具の取付金具又は取付バネと天井の間に補強材(鉄板、木片等)をいれてください。

●取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不充分ですと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

●表面に1mm以上の凹凸のある天井はザグリをし、平らにしてください。凹凸のある天井にそのまま取付けると、光モレ·気密性の低下の原因となります。



⚠ 警 告	
❗ 厳守	壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認の為、必要です。

❷ 天井面を確認する

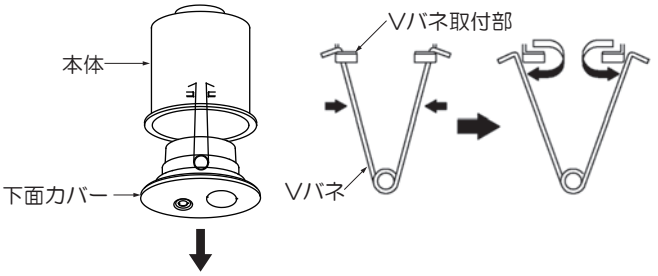
●天井の埋込穴がφ150±2mmか確認してください。

●天井の器具取付面の厚さが3～25mmか確認してください。

⚠ 警 告
指定の取付可能天井厚·埋込穴寸法以外の天井には使用しないでください。落下の原因となります。

❸ 下面カバーを取外す

●本体から下面カバーを引き下げ、Vバネ（2本）を下図のように本体のVバネ取付部から取外してください。



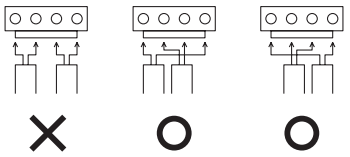
❹ 電源を接続する

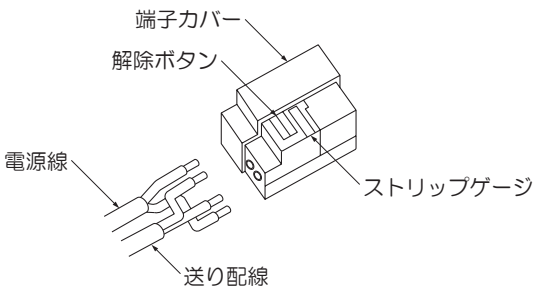
●必ず電源を切ってから作業してください。

●適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。

●端子台に奥まで確実に差し込んでください。

●アースネジを使用して、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。





⚠ 警 告	
適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。	定格以外の電圧では使用しないでください。火災·感電の原因となります。

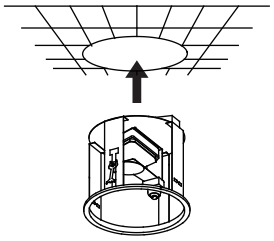
<電源線を取外す場合>

●必ず電源を切ってから作業してください。

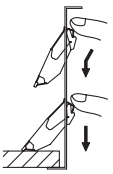
●ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

❺ 本体を取付ける

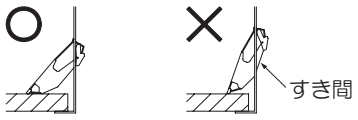
●埋込穴に本体を押し上げてください。



●取付金具(2個)の背を軽く押しながら引き下ろしてください。

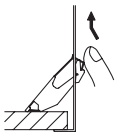


●取付金具と本体との間にすき間のある場合は確実に取付いていません。再度、取付金具を引き下ろしてください。



＜取付金具を外す場合＞

●取付金具の背を押しながら上へスライドさせてください。

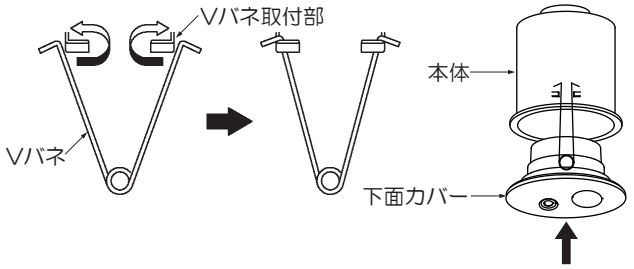


⚠ 警告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

❻ 下面カバーを取付ける

●枠にパッキンが付いているか確認してください。

●Vバネ(2本)を本体のVバネ取付部に取付け、下面カバーを軽く押し上げてください。



⚠ 警告
取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、落下·絶縁不良·漏電の原因となります。

❼ 使用前に確認する

●取付状態·点灯状態を確認してください。
(動作確認方法)

①ブレーカー、室内スイッチをONにしてください。

⚠ 警告	
厳守	壁スイッチは常にON状態でご使用ください。 誤動作の原因となります。

②1)電源投入直後(停電復帰直後)から、約30秒間、周囲の明るさ(照度)に関係なく強制点灯となります。
※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。

2)その後、約30秒間、テストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく人体を検知すると約5秒間照明が点灯するので検知エリアを確認してください。

3)テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。
※出荷時のスイッチ設定は動作設定ツマミが「調光」、点灯照度設定ツマミが「暗」となっています。

(動作設定ツマミ、点灯照度設定ツマミについては「各部の名称」並びに別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)

現　象		考えられる原因	処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する		壁スイッチを「ON」にした直後。 または、停電から復帰直後。	壁スイッチを「ON」にしたときは、約30秒間100%点灯状態になります。
	暗いとき	検知範囲内に人以外の熱源がある。 ＜例＞ ・自動車の熱やヘッドライト ・近くの道路の通行人 ・犬や猫などの動物 ・風などでよく揺れるもの （洗濯物、旗、植木など） ・他の照明器具 ・エアコンなどの吹出口からの風 ・強いノイズ（無線ノイズなど）	1.検知範囲を調整する。 （P.3参照） 2.熱源を取り除く。 検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが働くことがあります。
検知範囲に人がいるのに消灯する		センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「テスト」になっている。 （約5秒間点灯後、消灯）	「点灯照度設定」のツマミを「明」または「暗」にしてください。 （P.4参照）
	暗いとき	検知範囲内で人が静止している。	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	暗いとき	雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。
		マフラーで顔を覆ったり手袋をしたりして肌の露出部分が少ない。	
		夏の暑い日など周囲温度と人との温度差が少ない。	
		器具（センサー）に向かって正面から近づいている。	センサーの特性上、正面から近づくと検知しにくいときがあります。 センサーの検知部を少し左または右に向けてください。

クリーニング方法

●乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
●クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。

!	直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

この説明書は必ずお客様にお渡しください

DAIKO 大光電機株式会社

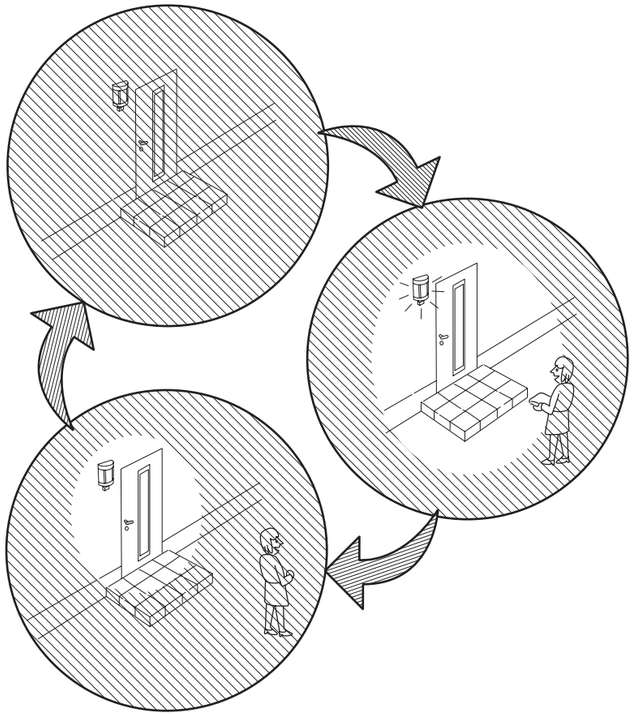
取扱説明書

OPN3(LED)　C-1　保存用
人感センサー（マルチタイプ）

お客様へ
●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店（有資格者）に依頼してください。

工事店様へ
●施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴



人感センサー

人を検知してランプが自動点灯

●人がいなくなると約1分後に消灯します。
●センサーの検知範囲は状況に合わせて調整できます。

強制ON

いつでもランプを点灯できる

●人感センサーを解除していつでもランプを点灯させることができます。
●家の中から玄関先の様子を見るときなどに便利です。

ソフトスタート

ランプはゆっくり明るくなる

●約2秒で100%点灯状態になります。
●徐々に明るくなるので、まぶしさに目がくらむことがありません。

フェードアウト

ランプはゆっくり暗くなる

●約2秒でゆっくり暗くなります。
●人の動きがないときでも突然消えないので安心です。（少し動けばまた明るくなります）

もくじ

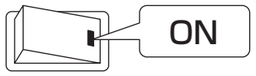
●センサー各部の名称 ……2
●人感センサーの働きを決める ……2
●[1]壁スイッチを「ON」にする ……2
●[2]人感センサーの検知範囲を調整す ……3
●[3]人感センサーの検知範囲を確認する（テストモード）……4
●[4]ランプを自動的に点灯／消灯させる周囲の明るさを決める（点灯照度設定）……4
●[5]暗くなったときの照らしかたを決める（動作設定）……5
●ランプを今すぐ点灯させたいとき（「強制ON」モード）……6
●修理を依頼される前に ……7

注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P､2を参照してください。)

エリアマスク
貼り付け位置

この説明書は必ずお客様にお渡しください

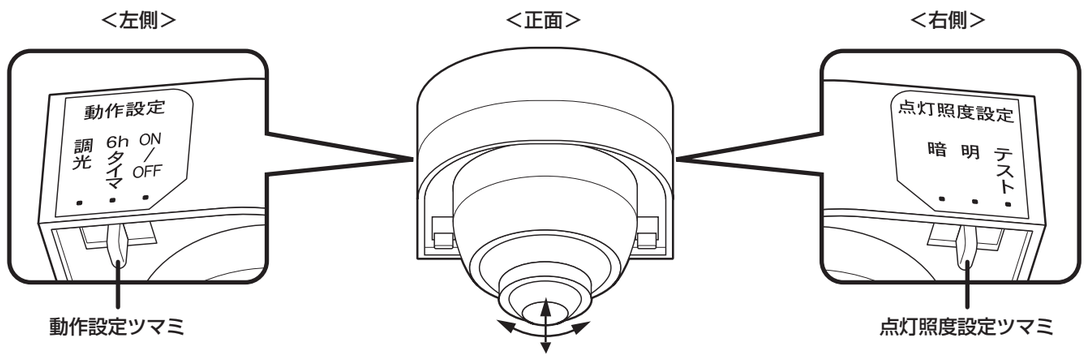
ご使用のときは



壁スイッチ(=電源)は「ON」状態でご使用ください。

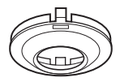
●「OFF」状態では人感センサーは働きません。

センサー各部の名称



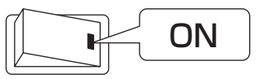
<付属品>

エリアマスク



人感センサーの働きを決める

1 壁スイッチを「ON」にする



➡ **約30秒間 ランプが点灯** ➡ **下記2 3 4 5の設定に従って 人感センサーが働きます。**

※壁スイッチは「ON」の状態でご使用ください。
※この取扱説明書では、壁スイッチ「ON」の状態で説明しています。

2 人感センサーの検知範囲を調整する……☞P.3

3 人感センサーの検知範囲を確認する……(テストモード)☞P.4

4 ランプを自動的に点灯/消灯させる周囲の明るさを決める……(点灯照度設定)☞P.4

5 暗くなったときの照らしかたを決める……(動作設定)☞P.5

修理を依頼される前に

●センサーの働きがおかしいときは下記を参考に点検を行ってください。
●処置をした後でも異常があるときは**必ず壁スイッチを「OFF」**にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現　象		考えられる原因	処置方法
ランプが消灯しない		壁スイッチを「OFF」にして約3秒以内に「ON」にした。	「強制ON」モードになっています。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上経過後「ON」にしてください。(P.6参照)
	明け方	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「明」になっている。	朝、明るくなるまでセンサーが働く設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「暗」にしてください。(P.4参照)
	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗いときがある)	「6hタイマ」モードでご使用の場合、昼間でも周囲が薄暗いときは、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプをほんのり点灯(約6時間継続)させることがあります。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上経過後「ON」にしてください。(P.6参照)
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。	
		センサーの検知部を傘、手などで覆ってしまった。	
検知範囲に人がいるのに点灯しない	夕方	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」になっている。	暗くなりはじめたらセンサーが働く設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「明」にしてください。(P.4参照)
	暗いとき	ランプが切れている。	新しいランプに交換する。(適合ランプは「照明器具の取扱説明書」または「照明器具に貼付のランプシール」参照)
		ランプが緩んでいる。	ランプを締め直す。(「照明器具の取扱説明書」参照)
		壁スイッチが「OFF」になっている。	壁スイッチを「ON」にする。
		センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。	1. センサーの検知部に当たる光を遮断してください。 2. 検知範囲内の照明器具を取り除いてください。
		センサー検知部のレンズが汚れている。	センサー検知部のレンズの汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

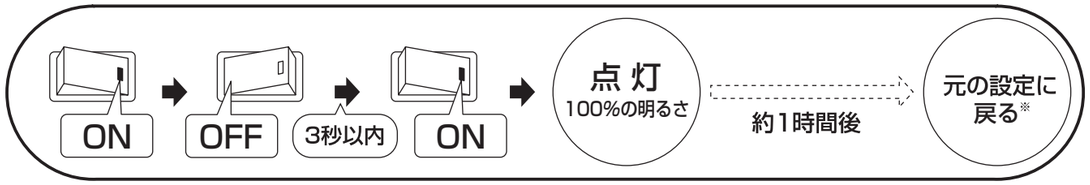
ランプを今すぐ点灯させたいとき 「強制ON」モード

人の有無や周囲の明るさに関係なく、ランプを強制的に点灯させることができます。

ランプを強制的に点灯させるとき （「強制ON」モードで使用するとき）

❶壁スイッチを「ON」にする。（すでに「ON」の場合はそのまま）

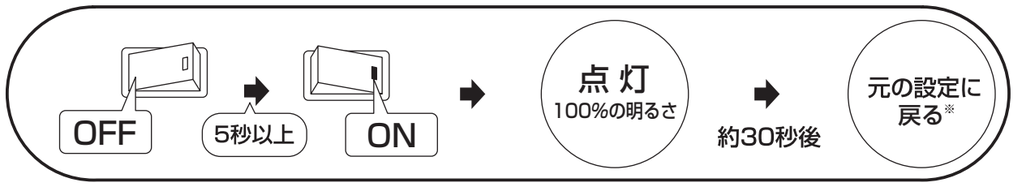
❷壁スイッチを「OFF」にし、3秒以内に「ON」にする。



元の設定に戻すとき （使用していた設定状態にすぐに戻したいとき）

❶壁スイッチを「OFF」にしてから5秒以上待つ。

❷壁スイッチを「ON」にする。

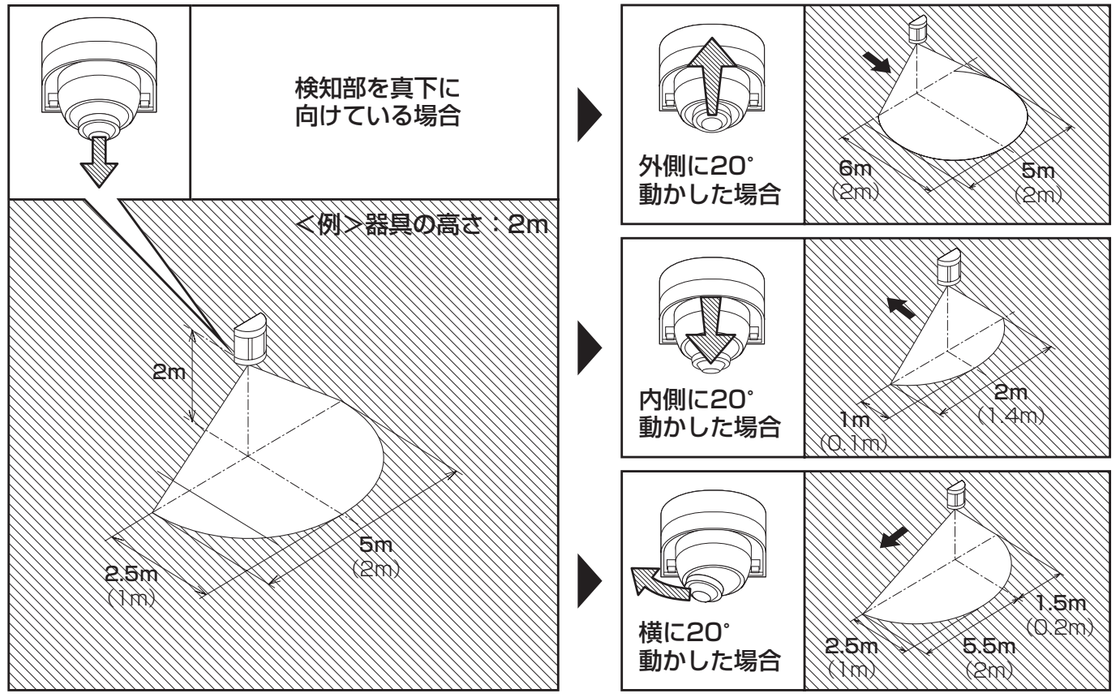


※ 元の設定に戻ったとき、設定内容や周囲の明るさなどにより、ランプの点灯状態が異なります。
（設定内容により異なる）

2 人感センサーの検知範囲を調整する

●センサーの検知部を動かすことで、検知範囲を調整することができます。
●下図の説明を参考に調整し、次のページの「テストモード」で検知範囲を確認してください。
●下図の（ ）内の数値は、エリアマスクを利用した場合の検知範囲です。検知範囲を調整しても、ひんぱんにセンサーが反応してしまうときは、エリアマスクをご利用ください。（下記「エリアマスクの利用」参照）

人感センサーの検知範囲

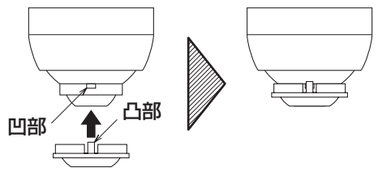


ひんぱんにセンサーが反応してしまうとき （エリアマスクの利用）

●検知範囲の近くに人や車が通る道があると、必要のないときまでランプが点灯する場合があります。
➡そのときはセンサーの検知部に「エリアマスク」を取り付け、検知範囲を調整してください。

エリアマスクの取付方法

エリアマスクの凸部を、検知部側面の凹部にはめ込む

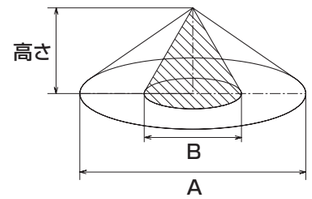


センサーの検知範囲

＜例＞
ダウンライトタイプに取り付け・真下に向けた場合

A：エリアマスクなし
B：エリアマスクあり

高さ	A	B
2m	5m	2m
2.5m	6m	2.5m
3m	7m	3m



壁に取り付ける（ブラケットタイプ）の場合
上記「人感センサーの検知範囲」図中の、（ ）内の数値をご参照ください。

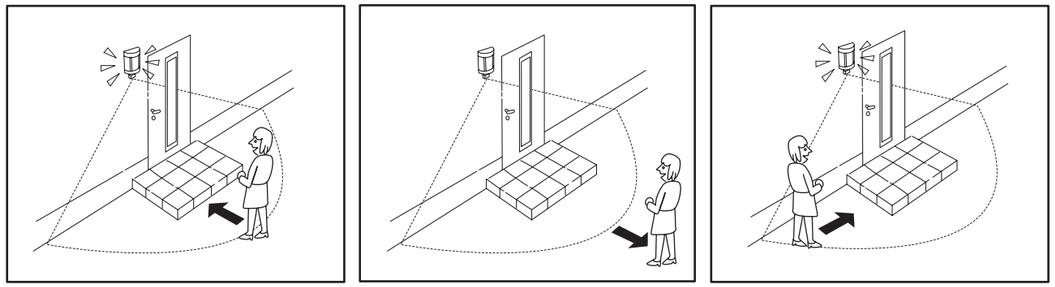
3 人感センサーの検知範囲を確認する テストモード

テストモードにすると、昼間・夜間に関係なく検知範囲に人が入るとランプが約5秒間点灯し、その後消灯します。

❶ センサー右側の点灯照度設定ツマミを「テスト」に合わせる。

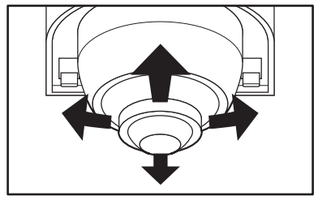
❷ 検知範囲に入ったり、出たりしながらランプの点灯／消灯を確認する。

●検知範囲に関して P.3参照



❸ 必要に応じて検知部を動かして検知範囲を調整する。

●手順❷と❸を繰り返して調整してください。



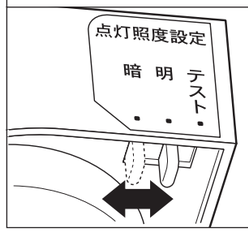
❹ 点灯照度設定ツマミを「暗」または「明」に設定する。 下記参照

4 ランプを自動的に点灯／消灯させる周囲の明るさを決める 点灯照度設定

周囲の明るさによってランプを自動的に点灯させたり消灯させたりする条件を設定できます。

●周囲が少し明るくても点灯させたいときは「明」に、暗くなってから点灯させたいときは「暗」に設定します。

❶ センサー右側の点灯照度設定ツマミを「暗」または「明」に合わせる。



設　定		周囲の明るさ	ランプ
暗のとき		夜、暗くなったら(約15ルクス以下)	点灯
		早朝、少し明るくなったら	消灯
明のとき		夕方少し暗くなったら(約45ルクス以下)	点灯
		朝、明るくなったら	消灯

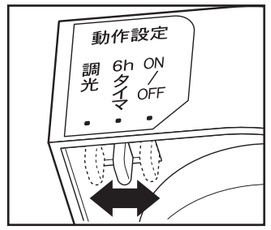
5 暗くなったときの照らしかたを決める 動作設定

照らしかたは3つのモード「調光」「6ｈタイマ」「ON/OFF」の中から１つ選ぶことができます。

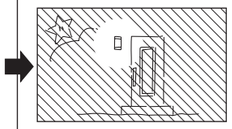
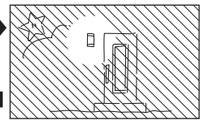
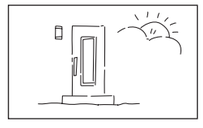
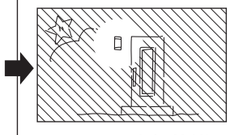
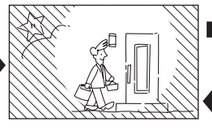
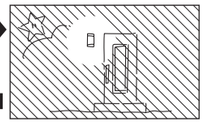
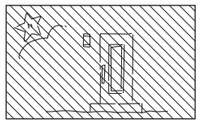
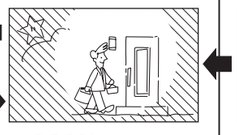
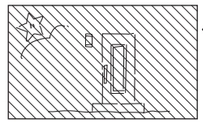
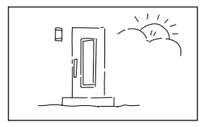
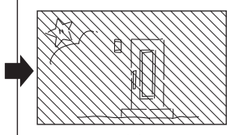
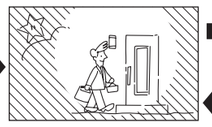
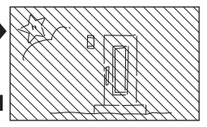
●【ほのかな明かりで照らす】+【人が来たら明るく照らす】➡「調光」モードに設定

●【ほのかな明かりで照らす(真夜中は消灯)】+【人が来たら明るく照らす】➡「6hタイマ」モードに設定

●【消灯】+【人が来たら明るく照らす】➡「ON/OFF」モードに設定



センサー左側の動作設定ツマミで
お好みのモードを選ぶ

条件 ＼ 動作設定	昼(明るいとき)	夜(暗いとき)		
	人がいるとき／いないとき	人がいないとき	人が来たとき	人がいなくなったとき
調光モード（夜間は消灯なしで**安心**）	消灯	 ほんのり点灯状態	100%点灯状態	 約1分でほんのり点灯状態に戻る
6hタイマモード（真夜中は消灯させて**節電**）	 消灯	 ほんのり点灯状態	 100%点灯状態	 約1分でほんのり点灯状態に戻る ほんのり点灯をはじめてから約6時間経過(真夜中)  消灯  100%点灯状態  約1分で消灯
ON/OFFモード（**必要なときだけ**点灯）	 消灯	 消灯	 100%点灯状態	 約1分で消灯